



Title	OUKA News Letter : 第7号
Author(s)	大阪大学附属図書館 電子コンテンツ担当
Citation	OUKA News Letter. 2022, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/86894
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

Oukaニュース

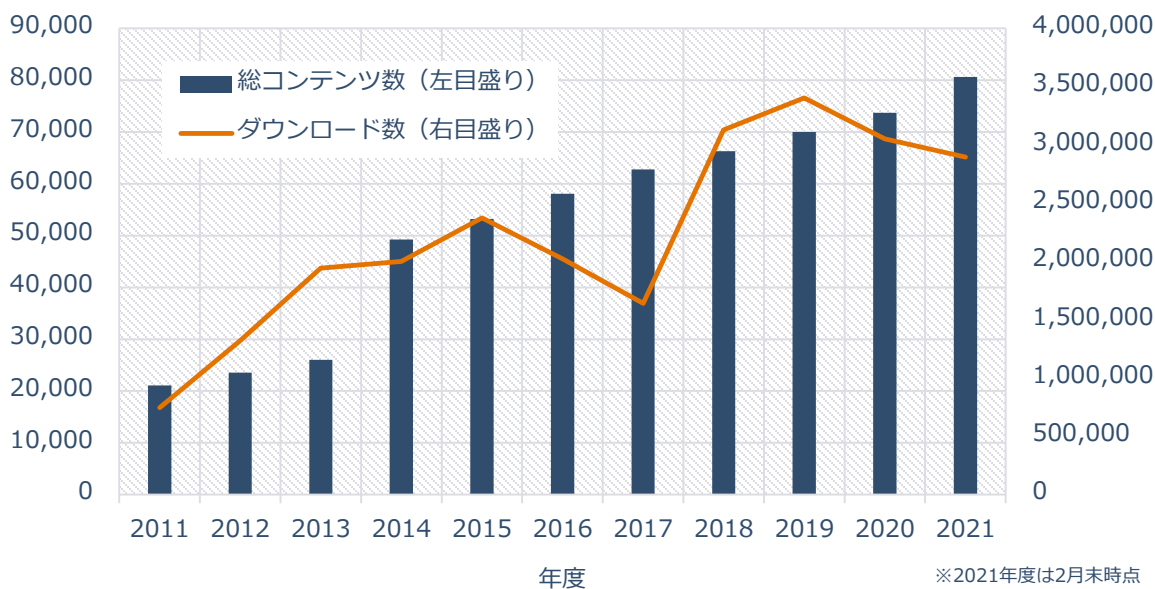
Oukaの総コンテンツ数が8万件を突破！

大阪大学学術情報庫Oukaは2007年2月の公開以来、登録対象を紀要論文、博士論文、学術雑誌論文と拡大し、多くの方にご利用いただきましたが、この度収録コンテンツ数が8万件を突破しました。これは日本の機関リポジトリとして有数の規模です。

Oukaは2022年秋にシステム更新を予定しており、より多くの皆様にご利用いただけるよう、新たな機能の実装を予定していますのでご期待ください。



Ouka総コンテンツ数とダウンロード件数の推移



本学におけるオープンサイエンス推進に向けて

近年、オープンサイエンスやデータ駆動型研究が注目されていますが、[本誌前号](#)においてお知らせしたように、国の政策としても推進されています。そのなかで各大学は、研究データポリシーの策定や、研究データ管理についての研究者へのサポートなどが求められています。

本学においては、全学的な議論の場として2021年11月に研究推進本部内に「オープンサイエンス推進室」が設置されました。附属図書館からは事務部長や研究開発室員が参加するなど、附属図書館も積極的に関与し議論を本格化させています。続報は本誌においてもお伝えします。

Switching-ON OU×OA

特集記事

今回のテーマ：永続的識別子について（DOI編）



学術情報には、その特定のため様々な識別子が付与されますが、今回はそのうち最も知られている「DOI」について解説いたします。

永続的識別子とは

識別子とは「ものや情報などの対象を一意に特定できる記号や番号」という理解が一般的かと思います。そして、永続的識別子（Persistent Identifier: PID）とは、恒久的で変更されることのない識別子です。学術情報におけるPIDとしては、以下のようなものが挙げられます。

名称	付与対象	管理機関
ISBN (International Standard Book Number)	図書	国際ISBN機関
ISSN (International Standard Serial Number)	雑誌（逐次刊行物）	ISSNネットワーク
DOI (Digital Object Identifier)	電子的な学術コンテンツ	国際DOI財団
ORCID (Open Researcher and Contributor ID)	研究者	ORCID Inc.
ROR (Research Organization Registry)	研究機関	ROR

従来より図書館ではISBNやISSNといった識別子が利用されてきましたが、今回はOUKAと関わりが深いDOIを取り上げます。

DOIとは

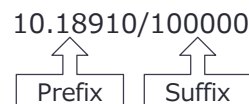
DOIは、国際DOI財団が管理するISOにより標準化された識別子（ISO 26324:2012）です。DOIは主に電子ジャーナルの論文や電子書籍に付与されてきましたが、近年では研究データやデジタルアーカイブに搭載された古典籍の画像など多様な学術コンテンツに付与され、学術コンテンツの識別子としてデファクトスタンダードとなっています。

DOIの登録は世界に11ある登録機関のみが可能で、日本ではジャパンリンクセンター（JaLC）¹が登録機関になっています。OUKAを含めて日本の機関リポジトリは、JaLCを通してDOIを登録しています。他には欧米を中心とした主要な学術出版社に利用されている[Crossref](#)や、研究データに特化した[DataCite](#)が著名です。

DOIは各コンテンツの登録団体固有のPrefixと、個々のコンテンツを特定するSuffixとを「/」でつないで並べた構成となっています。DOIの前に「https://doi.org/」をつけることによりURLとして機能します。

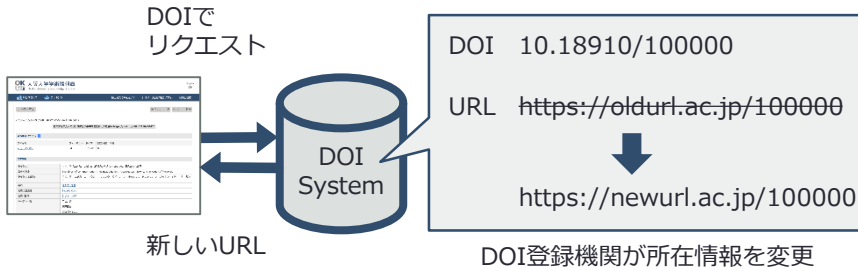
1 科学技術振興機構（JST）、物質・材料研究機構（NIMS）、国立情報学研究所（NII）、国立国会図書館（NDL）の4機関が共同運営する組織です。

DOIの例



アクセスする際のURL:
https://doi.org/10.18910/100000

DOIの仕組みとメリット



上記のように、コンテンツのDOIと所在情報（URL）がペアで管理されることでリンク切れを防いでいます。こうして**コンテンツへの永続的なアクセス**が可能となり、**論文へのアクセシビリティが向上**します。加えて、DOIは**文献の同定、引用、検索等にも便利**です。

また、DOIに限りませんが、PIDは研究の**FAIR原則**（The FAIR Data Principles）を実現します。FAIRは、**F**indable（見つけられる）、**A**ccessible（アクセスできる）、**I**nteroperable（相互運用できる）、**R**eusable（再利用できる）の略で、研究データの適切な公開・共有方法を示した原則です²。

2 FAIR原則では（永続的）識別子について、以下のように言及されています。

F1.（メタ）データが、グローバルに一意で永続的な識別子（ID）を有すること。

F4. メタデータが、データの識別子（ID）を明記していること。

A1. 標準化された通信プロトコルを使って、（メタ）データを識別子（ID）により入手できること。

FORCE11. THE FAIR DATA PRINCIPLES. 2016. <https://www.force11.org/group/fairgroup/fairprinciples> (NBDC研究チーム訳. FAIR原則. 2019. <https://doi.org/10.18908/a.2019112601>).

OUKAにおけるDOIの付与

OUKAでは、すべてのコンテンツにDOIと同様の永続的なURL「ハンドルURL³」を付与していますが、**ご希望の場合は、より国際的な流通に適したDOIを付与いたします。**

現在付与できるDOIは（JaLCを通して登録する）JaLC DOIですが、登録するコンテンツが研究データである場合、システム更新を行う2022年秋以降にはDataCite DOIの付与受付を開始する予定です。

■付与対象

博士論文、紀要論文、学術雑誌論文（著者最終稿）など

※以下のようなコンテンツは付与できません。

- ・ 本文がない（メタデータのみ、あるいは要旨のみ）コンテンツ
- ・ 紀要等の表紙・目次等のコンテンツ
- ・ 学術雑誌論文のうち、出版社版の本文ファイルを登録しているコンテンツ（出版社がDOIを付与するため）

■その他注意点

- ・ DOIを付与したコンテンツは、原則として削除や非公開化はできません。
- ・ OUKAでのコンテンツ公開後、DOIが有効化されるまで1週間程度要します。

3 ハンドルシステムは、上記図示したようなDOIでも利用されている技術です。ハンドルURLは下記例のようなURLです。

<http://hdl.handle.net/11094/100000>

DOIの付与はOUKAのWebサイトにおいてもご案内しています。

DOIの付与
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/doi.html>



OUKA担当からのお知らせ

あなたの論文を、OUKAで公開しませんか？

OUKAで論文を公開すると、世界中の読者が無料でアクセスできます。

著作権調査など、公開にあたり必要な作業は図書館で行います。
コンテンツ公開のご依頼やお問い合わせ、ご相談など、まずはお気軽に
附属図書館・電子コンテンツ担当までご連絡ください。

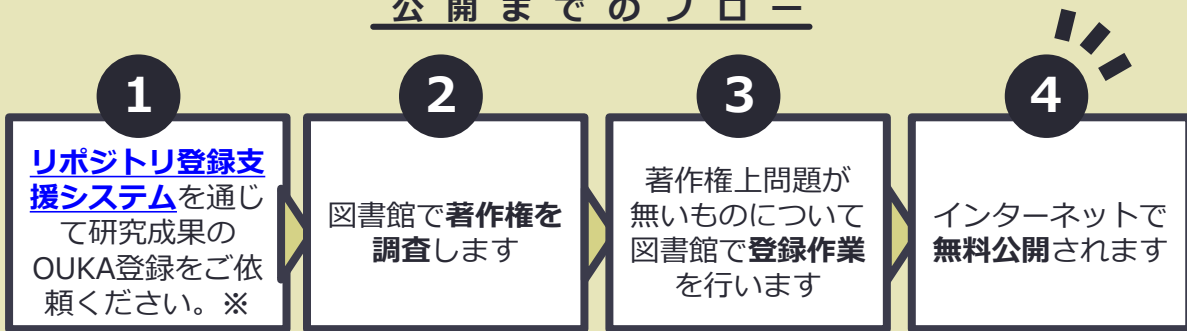


OUKAちゃん

OUKAに登録するメリット

- (1) 研究成果の可視性・知名度の向上につながる
- (2) 研究成果が無料で永続的に維持・管理される
- (3) 冊子体無くともオープンデジタルコンテンツとして研究成果を公開できる

公開までのフロー



※教員・研究員の方限定となります。それ以外の方は下部連絡先まで研究成果をお送りください。

登録の条件

研究成果を登録できる方

- (1) 本学に在職し、又は在職した役員及び教職員。
- (2) 本学大学院（博士前期課程及び修士課程を除く。）に在学し、又は在学した大学院生。
- (3) 第1号に掲げる者を構成員に含む団体。
- (4) その他、附属図書館長が適当と認めた者。

登録することができる研究成果の種類

学術雑誌論文、博士論文、紀要論文、研究成果報告書、図書、会議発表用資料、教材、
本学所蔵の学術情報資料
その他、附属図書館長が適当と認めたもの

お問い合わせ先

附属図書館 電子コンテンツ担当 ouka@office.osaka-u.ac.jp